

万世大路と米沢街道の歴史と役割

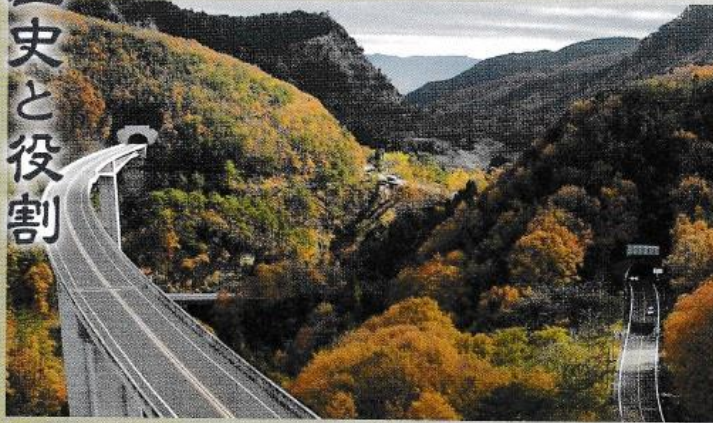


明治14年 葉子隧道十二景「葉子奇観」(福島県立図書館蔵)

明治期のものを改修して作られた  
旧坑のニツ小屋隧道



昭和8年のニツ小屋隧道東口工事の様子



東北中央自動車道と国道13号



米沢街道(李平の石畳)

第十五回交流会 万世大路・福島大会

とうほくほく街道会議

万世大路  
米沢街道

とき 9月27日(金)▶28日(土)

福島市こどもの夢を育む施設 福島市早稲町 1-1  
 ところ 福島駅東口 こむこむ館 TEL024-524-3131

主催：とうほく街道会議 第15回交流会 万世大路・福島大会実行委員会  
 とうほく街道会議、ふくしまけん街道交流会、万世大路研究会、国土交通省福島河川国道事務所、  
 国土交通省福島運輸支局、福島県、福島市、福島商工会議所、(公財)福島県観光物産交流協会、  
 (一社)福島市観光コンベンション協会

共催：(一社)東北地域づくり協会、ニツ小屋隧道保存会、NPO法人ストリートふくしま  
 後援：NPO法人全国街道交流会議、出羽の古道六十里越街道会議、あおりかいどう会議、  
 あきた地域資源ネットワーク、みやぎ街道交流会、羽州街道交流会、  
 NPO法人東北みち会議、福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、  
 毎日新聞福島支局、読売新聞東京本社福島支局、河北新報社、NHK福島放送局、  
 福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、  
 福島コミュニティ放送FMポコ

協力：国土交通省山形河川国道事務所、歴史の道土木遺産 万世大路保存会、米沢市、JR東日本福島駅、  
 東日本高速道路東北支社、日本中央競馬会福島競馬場、  
 吾妻地区郷土史談会、大滝会、福島市万世大路を守る会、瀬上町 嶋貫本家



# とうほく街道会議

万世大路と米沢街道の歴史と役割

## 開催趣意

福島と米沢を結ぶ道は、奥羽山脈越えと雪の克服の歴史で、時代の要請に応じて進化して来ました。

中世に板谷峠を越える道が開かれ、江戸時代には米沢藩の参勤交代や阿武隈川舟運への道として機能していました。

明治時代に入り、山形県令三島通庸は首都直結の道路が重要であるとし、福島県令山吉盛典と協力し、明治9年(1876年)に栗子越えの新道に着手し、明治14年10月3日に東北・北海道巡幸中の明治天皇が開通式にご臨席され、後に天皇により「万世大路」と命名されました。

その後、昭和12年に自動車の通行可能な道路に改修されましたが、冬期は通行出来ませんでした。

戦後、モータリゼーションの進展に伴い、昭和41年に近代的な「栗子ハイウェイ」として生まれ変わり、冬期通行が可能となりました。

そして、高速交通時代を迎え、平成29年11月には東北中央自動車道が開通し、産業振興や交流の道として大きく期待されているところです。

一方、街道活動団体などによる万世大路など歴史的道路の調査・研究などの活動等を通じ、市民にも万世大路への関心が高まって来ているところです。

本大会は、万世大路の歴史を再認識するとともに、この偉大な遺産を「豊かなふるさとづくり」における歴史や観光資源として活用していく契機とすることを目的に開催するものです。



福島県立図書館所蔵

## 9月27日(金) プログラム

### オープニングセレモニー 時間/13:25頃~14:00 (13:00開場)

- 郷土芸能披露 (飯坂太鼓)
- 実行委員長あいさつ 福島市長 木幡 浩
- とうほく街道会議会長あいさつ 宮原育子
- 来賓あいさつ 福島県知事:堀内雅雄 福島県東北建設事務所 所長 安田博道  
国土交通省東北地方整備局道路部長 酒井 洋一



### 基調講演 時間/14:00~15:00

#### 『万世大路』の華麗なる復活劇に見る『廃道』の活用可能性

万世大路を「廃道の聖地」と呼ぶ廃道探検家から、市民グループが守る最近の万世大路の変化と「廃道」としての魅力を紹介いただき、「廃道」の魅力を活かした今後の万世大路の活用可能性について考えます。

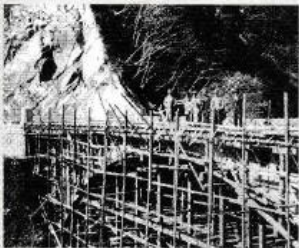


講師 / 平沼 義之 (廃道探検家、フリーライター)

昭和52年生まれ。廃道探検家(オプローダー)。横浜市で鶴見川のサイクリングロードを友とした小学生時代、秋田県湯上市で「山チャリ」(マウンテンバイクで林道を走る)に目覚めた中学生時代、峠の旧道に愛着を覚えはじめた高校生時代を経て、大学中退後就職。平成12年に開設した廃道探検サイト「山さ行がねが」は現在までに4500万アクセスを数える。平成15年春に探検した「万世大路」では、旧道を越えた「廃道」の魅力に衝撃を受ける。平成19年から、廃道探検で生計を立てる日本初のプロ・オプローダーを志して活動中。道路マニア・トンネルマニアとして、各種メディアに出演。著作に『国道? 峠道? 日本の道路120万キロ大研究』『廃道探検 山さ行がねが』(いずれも美業之日本社)などがある。サイト:「山さ行がねが」<http://yamaiga.com/>







分科会 時間/15:20~17:00

## ①「土木遺産としての万世大路を楽しむ」

会場/こむこむ館 4F 企画展示室

万世大路を多くの皆様楽しんで頂くために、栗子峠の歴史を振り返り、見学者や保存維持活動の現状を報告し、今後の進め方について考えていきます。

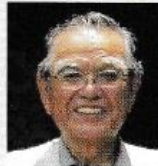
コーディネーター

アドバイザー

パネリスト



後藤 光亀氏  
(元東北大学准教授)



梅津 幸保氏  
(萬世大路保存会会長)



鹿摩 貞男氏  
(万世大路研究会代表代行)



岡部 達也氏  
(万世大路を守る会代表)



山口 裕子氏  
(万世大路研究会副代表)

## ②「街道を活かした地域活性化と観光創造」

会場/こむこむ館 わいわいホール

万世大路の歴史や物語、土木遺産を踏まえながら、これからの地域づくりにどのように活かしていくべきなのか。そして、この街道をインバウンドも含めた広域観光や交流促進による地域の活性化に繋げるかを考えます。

コーディネーター

アドバイザー

パネリスト



奥本 英樹氏  
(福島大学教授)



小浪 尊宏氏  
(福島河川国道事務所長)



阿部 公一氏  
(万世大路研究会代表)



西坂 邦仁氏  
(福島市商工観光部長)



坂川 好則氏  
(道の駅米沢駅長)

……平沼 義之氏 (廃道探検家)

### 街道談義 (交流会)

時間/18:00~20:00 会場/岩代屋敷大王 (マイクロバス送迎)

■ 参加費: 4,000円 ■ 定員: 100名

シャトルバスにて、こむこむ館から会場へ送迎いたします。

協 賛

福島民報社

福島民友新聞社

福テレ 福島テレビ

TUFテレビユー福島



## 9月28日(土) プログラム

雨天でも実施しますが、現地状況によってはコースの一部が変更になる場合もありますので、ご了承ください。  
歩きやすい服装と靴でご参加ください。

### 街道探訪会

#### 第①コース「万世大路を歩く」

福島駅西口集合 8:00 ガイド / 阿部 公一氏 (万世大路研究会代表)、鹿摩 貞男氏 (万世大路研究会代表代行)  
8:00~16:00 徒歩約 5km

コース ニツ小屋隧道 ▶ 栗子国道維持出張所 (慰霊碑) ▶ 大滝集落跡 ▶ 昼食 ▶ 新沢橋周辺 ▶ 医王寺 ▶ 福島駅西口

##### 1 コース見どころ

ニツ小屋隧道の美しい坑門、旧万世大路に続く見事な石積などの史跡をたどります。当時の最新技術で建設された新沢橋、周辺の新・旧万人路に土木技術の変遷が実感できます。大滝集落跡で明治天皇東北御巡幸の足跡をたどります。また源義経の従者佐藤継信・忠信兄弟ゆかりの医王寺も訪ねます。



#### 第②コース「米沢街道～李平宿と石畳を訪ねて～」

福島駅西口集合 8:30 ガイド / 柴田 俊彰氏 (福島市史編纂室)、吾妻郷土史談会  
8:30~15:30 徒歩約 2km

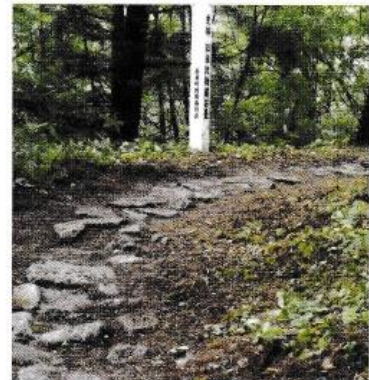
※半日コース

(8:30~13:00 徒歩約 1km)

コース 庭坂宿 ▶ 李平宿 ▶ 石畳 ▶ 昼食 ▶ 観音寺 ▶ 陽泉寺 ▶ 福島駅西口

##### 2 コース見どころ

難所板谷峠越えの米沢街道の宿駅として、慶長 18 年に開かれた李平宿と、街道の石畳を中心に米沢街道をたどります。また、14 世紀中頃の仏師円勝と乗円の共作による木造釈迦如来坐像 (陽泉寺)、鎌倉時代の地方信仰をあらわす貴重な供養石塔 (下鳥渡供養石塔) など、福島市西部地区の代表的な文化財も訪ねます。



#### 第③コース「奥州街道・福島城下を歩く」

福島県庁本庁舎前 8:30 ガイド / 守谷 早苗氏 (福島市史編纂室)

8:30~15:30 徒歩約 3km

※半日コース

(8:30~12:30 徒歩約 1.5km)

コース 福島城跡 ▶ 板倉神社 ▶ 到岸寺 ▶ 昼食 ▶ 長楽寺 ▶ 大蔵寺 ▶ 福島駅西口

##### 3 コース見どころ

福島県庁は旧福島城の二の丸・三の丸にあり、周辺には鎌倉時代から近現代までの遺跡や文化財がたくさんあります。福島城板倉会館では旧福島藩主板倉氏の遺した歴史資料を見ます。旧奥州街道を歩き、戊辰戦争で奥羽鎮撫総督府軍事局となった長楽寺や 4m もの巨大な千手観音 (国指定重要文化財) のある大蔵寺を訪ねます。





# 企画展

◆会場 こむこむ館1階にぎわい広場 ◆時間 9:30~19:00 ※最終日は15:00まで  
◆開催日 9/25(水)▶10/4(金) ◆解説 守谷 早苗氏 (福島市史編纂室)、柴田 俊彰氏 (福島市史編纂室)

## 明治の東北巡幸と福島町そして万世大路

明治九年の東北巡幸と福島 明治十四年の東北巡幸と福島



### 主な展示資料

- ◆書「守道有天知」(木戸孝允)
- ◆錦絵「奥州御巡幸図会 信夫橋之図(明治9年)」
- ◆「栗子新道画図」(明治14年)
- ◆人力車
- ◆「天覧物品記」と「矢ノ根石」(明治9年)
- ◆「福島県下御通駕沿道地区」(明治14年)
- ◆「福島県下中野新道御通駕沿道地区」(明治14年)
- ◆「辞令(中野新道新駅設置殖民世話掛兼務)」
- ◆「奥州御巡幸明細日誌」(明治9年)
- ◆「御巡幸事務必携」
- ◆馬留石と馬模型
- ◆写真「御料馬車」
- ◆「御巡幸御行列之図式」(複写)
- ◆「御巡幸駕路御休泊供奉御列図表」(複写)
- ◆「奥州御巡行於須賀川駅良馬選挙図」

# 特別講座

◆会場 こむこむ館2階 学習室 ◆定員 50名(申込み不要、先着順)  
◆開催日 9/29(日) ◆受講料 無料

### 講座 米沢街道の歴史

◆10:30~12:00

講師:柴田 俊彰氏 (福島市史編纂室)

「万世大路」が開通するまで、福島と米沢とは「米沢街道」で結ばれていました。今回はその歴史や、どのようなルートを通っていたのかなどについて解説していただきます。



1. 中世の米沢街道 ~伊達氏の道、軍事用道路~  
(1)八丁目城と大森城と歴史 (2)ルート (3)沿道の文化財
2. 近世の米沢街道 ~上杉氏の参勤交代の道~  
(1)その歴史 (2)ルート (3)宿場(榎木野宿、庭坂宿、李平宿) (4)石畳

### 講座 明治9年・14年の東北巡幸と福島町そして万世大路

◆13:30~15:00

講師:守谷 早苗氏 (福島市史編纂室)

二ツ小屋隧道を含む新道開削は、明治天皇を迎えて開通式を行い「万世大路」の名を賜るなど、当時の社会経済活動上、画期的な出来事であったとされています。二度の東北巡幸に焦点を当てながら「万世大路」の魅力について解説していただきます。



1. 明治六大巡幸  
(1)勤かぬ江戸時代の天皇と動いた明治天皇  
(2)明治の巡幸の意義(明治18年が最後の大巡幸)  
(3)巡幸の乗り物は一馬車・乗馬・板輿
2. 明治9年の東北巡幸と福島町  
(1)明治9年巡幸の道筋、休憩所・行在所  
(2)福島町と巡幸
3. 明治14年の東北巡幸と福島町  
(1)明治14年巡幸の道筋・休憩所・行在所  
(2)福島町と巡幸  
(3)若松地方代巡
4. 二ツ小屋駐籠所そして万世大路と命名  
(1)二ツ小屋駐籠所  
(2)万世大路と命名

主催:二ツ小屋隧道保存会、福島市 共催:国土交通省福島河川国道事務所 後援:福島民報社、福島民友新聞社、ラジオ福島、テレビユー福島  
協力:日本中央競馬会福島競馬場、瀬上町 嶋貨本家 監修:福島市史編纂室

国土交通省  
パネル展

## 「万世大路、そして東北中央自動車道へ~歴史をつないで~」

◆会場 こむこむ館1階にぎわい通り ◆開催期間 9/25(水)~10/4(金) 最終日は15:00まで